**一般参加施設のデータ利用に関して**

**テーマ募集とデータ利用**

データクリーニング後、希望者には収集した全てのデータをお渡しします。

その後、複数回に分けて、提出症例20例以上の協力者全員に対し、解析テーマの募集を行います。解析テーマが重複した場合は、提出症例数に基づき優先権を付与します。申請されたテーマが、半年たっても雑誌への投稿（acceptは関係なし）に至らない場合は、そのテーマに関して解析/執筆する権利は消失します。

ただし、下記のテーマに関しては、解析を行うことが計画段階で決定しています。

* Recombinant thrombomodulin投与の効果
* antithrombin投与の効果
* DIC治療の効果
* IVIG投与の効果
* SepsisにおけるDICの発生頻度と予後に対する影響
* 施設のDIC診療方針による転帰の違い
* 血小板数の絶対値・経日推移と臨床像との関連について

**Authorshipに関して**

上記の事前設定したテーマに関しては、コアメンバーで解析/論文作成を行います。その際、ご協力頂いた皆様にも、共著者として掲載させて頂きます。その際の方針は下記のとおりです。

1. 1st author＝Corresponding author　(テーマごとに担当者を事前設定）

② コアメンバー

③　統計担当者

④ 一般参加施設の担当者：提出症例数順

皆様が作成された論文のAuthorshipは下記を参考にしてください。

① 1st author＝本研究への参加者

② 以降は1st authorの判断で自由に

collaborator（acknowledge）として、コアメンバーと他の一般参加施設を列挙

学会発表に関しては、JSEPTIC DIC study groupの名前のみでも可とします。